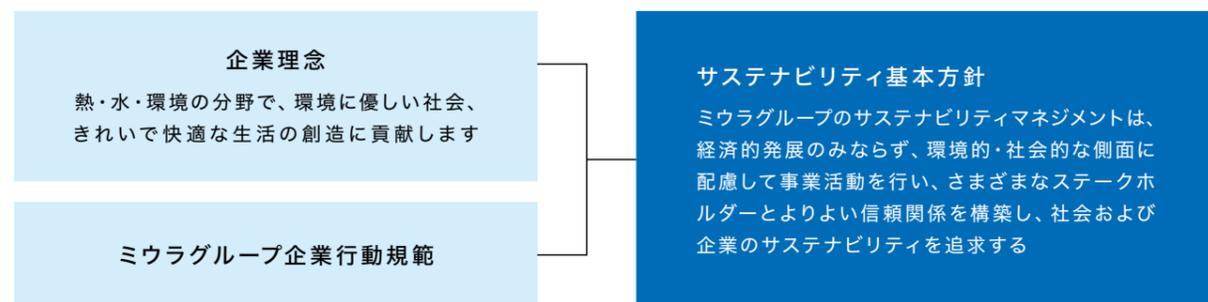


## サステナビリティマネジメント

### サステナビリティ推進体制

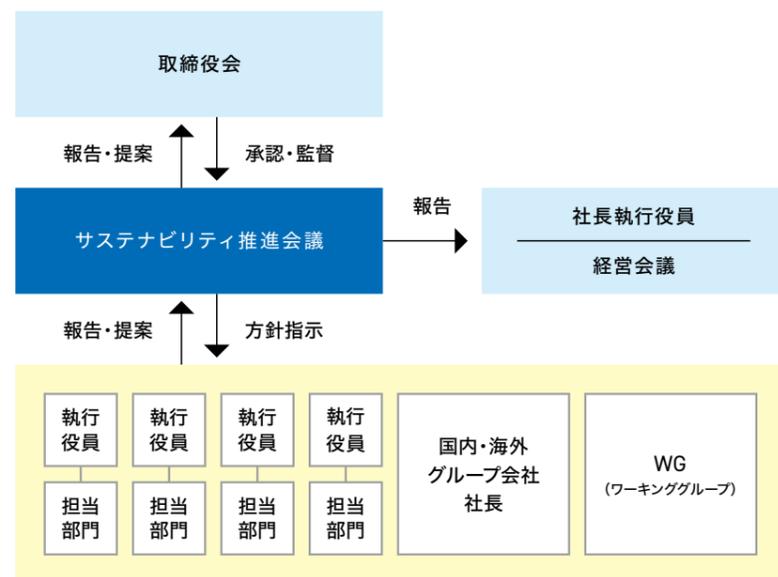
当社は、ミウラグループ理念体系および企業行動規範をふまえて策定した「サステナビリティ基本方針」のもと、サステナブル経営を推し進める仕組みとして、サステナビリティ推進会議を設置し、体系的に活動を行っています。



サステナブルな経営を推進する仕組みとしてサステナビリティ推進会議を年4回開催し、ミウラグループマテリアリティ(重要課題)の推進に取り組んでいます。推進会議は、社長執行役員が指名するサステナビリティ推進担当役員を議長とし、関連部門の執行役員等で構成しています。

SDGsとも関連付けされた、当社事業を通じて特定したマテリアリティの解決に向けて、各部門が設定したKPIを、方針・計画・施策の審議決定(Plan)、各部門での遂行(Do)、進捗管理=推進会議での進捗報告(Check)、各部門の取り組みの促進(Action)のサイクルで進捗管理をしています。定期的に経営会議および取締役会へ審議・決議事項等を報告・提案を行い、取締役会が監督するガバナンス体制により、サステナブル経営を推進しています。

#### ● サステナビリティマネジメント体制図



#### サステナビリティ推進会議 (2025年3月期) 主な議題内容

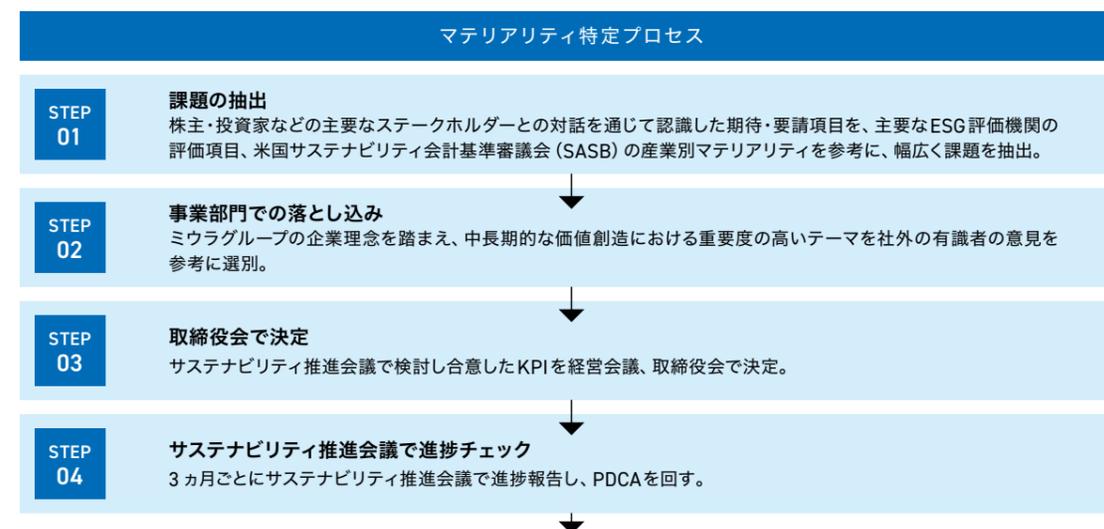
- ミウラグループマテリアリティについて各部門のKPI進捗管理および計画の見直し
- リスクマネジメントにおけるリスクマップ評価の見直しおよび進捗確認
- CDP\*スコア結果情報の共有及び今後の対応
- 健康サーベイの結果共有および今後の運用

\*CDPについては、<https://www.cdp.net/ja/data/scores> を参照ください。

## ミウラグループマテリアリティ (重要課題)

### マテリアリティ

ミウラグループでは、価値創造プロセスとその持続性に重要な影響を及ぼす課題を株主・投資家などの主要ステークホルダーの視点で抽出しています。マテリアリティ項目の取り組み強化により、社会的価値創出と経済的価値創出の両立を目指します。



E/S/G	項目	具体的な取り組み	関連するSDGs
E	環境負荷の低減 (▶P49-50) 気候変動への取り組み (▶P51-52)	● 環境に配慮した製品開発 ● 自社操業におけるエネルギーの有効利用 ● 廃棄物量の削減と資源有効利用 ● 化学物質管理	6, 7, 8, 9, 12, 13, 14, 15, 17
	人財戦略・マネジメント (▶P53-57) 労働安全衛生 (▶P58)	● 人財育成 ● 多様な人財の活用 ● 職場環境の整備 ● 人権尊重 ● 労働災害防止 ● 安全衛生教育の実施 ● 健康経営の推進	3, 5, 8, 10
S	製品・サービスの品質管理 (▶P59)	● 品質向上会議、製品開発におけるリスクアセスメント ● 製品不適合への迅速・適切な対応	12, 17
	サプライチェーンマネジメント (▶P60)	● 調達におけるBCP推進 ● 主要サプライヤーとの四位一体改革の推進 ● グリーン調達(化学物質管理)の推進	12, 17
G	コーポレート・ガバナンス (▶P63-70)	● 取締役会の実効性評価を活用したガバナンス体制の強化 ● 取締役会の実効性向上への取り組み	16
	コンプライアンス (▶P71)	● 贈収賄防止 ● 安全保障輸出管理 ● 知的財産の保護	

各担当事業部でマテリアリティに基づいたKPIをアクション設定

アクションの実行、適宜、設定の見直し